

突っ走れないのに、ぼくらは常に突っ走りたいたいのだ。

内田栄一

マッチ一本の明りで見渡せる映画

# 自転車吐息

zitemsha toiki

*Bicycle Sighs (Zitemsha toiki)* is Sono's debut feature, and another sign of the vitality of Japan's "Young Cinema" in the 1990s. The tale it tells of adolescent growing pains and frustrations is hardly new, but the treatment could hardly be fresher. **Tony Rayns**

凱旋!

主演・監督：園子温

主題歌：グレートリッチーズ

カナダ・バンクーバー国際映画祭正式招待作品  
 サンダンスUSフィルムフェスティバル正式招待作品  
 シンガポール国際映画祭正式招待作品

第4回PFFスカラシップ作品  
 ぴあ・アンカーズプロダクション共同制作・配給

海を越えて帰ってきた。待望のアンコール・ロードショー決定!

平成三年一月十六日ヨリ二十四日マデ、中野武蔵野ホール

## 「観る者すべてを開眼させる最注目監督の入魂作」

Hotdog Press 90年5月10日号

## 「見ていて思わず息苦しくなるような“辛口青春映画”だ！」

ロードショー 90年6月号

## 「混沌の中の詩情、イメージの力とエネルギー、 現在の日本映画の混沌の魅力を体現した一本だ」

大久保賢一 キネマ旬報 90年5月下旬号

## 90年5月、入場者オーバーの大ヒット！ 圧倒的支持に応えての海外凱旋ロードショー

あの「自転車吐息」が帰ってくる。昨年五月にレイトショー上映ながら熱狂的な支持を集めた、あの“幻のロードムービー”が再び中野武蔵野ホールでアンコール上映される！

ノンスター・低予算の、日本映画の範疇からは限りなく無縁の存在であった「自転車吐息」は、カナダのバンクーバー国際映画祭正式招待をはじめ、イギリス、スウェーデン、アメリカと、世界各地で上映されてき

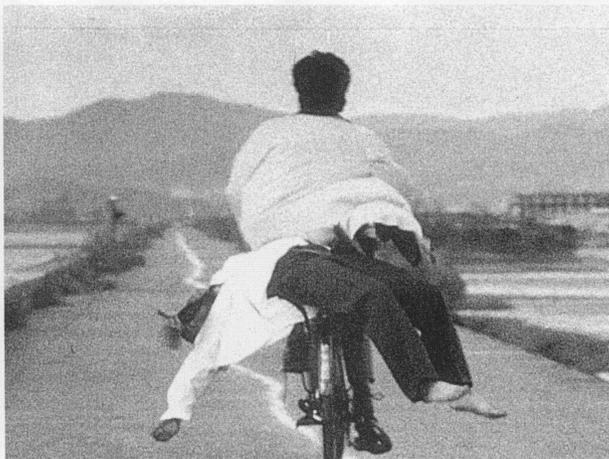
た。日本の偏狭なジャンル分類の枠を飛び越え、主演・監督をこなした園子温は真のインディーズ映画を目指す。

今こそ、誰よりも早く園子温の「自転車吐息」を見てもらいたい。去年の上映で見た人も、満員で入れなかった人も、そしてまだ見ていない人も、何の種も仕掛けもない、フィルムと共に疾走する輝きを御覧あれ！これこそが映画。その名は「自転車吐息」だ。

スタッフ ●制作/西村隆 鈴木豊●助監督/斎藤久志 竹内敬明●撮影/北沢弘之●撮影助手/村埜茂樹●照明/清野俊博●照明助手/田部谷正俊  
編集/石原肇●編集助手/中村由美子●美術/鈴木卓爾●美・記録/小口詩子●助手/北村直子●録音/北原慶昭 岩佐琢●録音助手/真道正樹 東誠  
●ネガ編集/渡部千鶴●音楽/ボボ・ラプジル 請井進 会津わたる 山ちゃん●協力/びあ IMAGICA ナック●出演/河西宏美(北方子) 杉山正弘  
(田村圭太) 山本浩子(京子) 山道亮介 高木陽子 園いずみ 牧野剛 園音日 井口昇 成澤アキヨシ 平野勝之 袴田浩之



●昨年5月、中野武蔵野ホールでの上映風景



### 主演・監督：園子温

2/16(土)～24(日) 中野武蔵野ホール

1989年度作品 カラー93分 「自転車吐息」

11:00/1:00/3:00/5:00/7:00

●連日、夜七時から大物ゲストによる対談あり。お問い合わせは劇場まで。  
ゲスト:内田栄一 山本政志 MAMORU(グレイトリッチーズ) その他多数予定

●当日1600円●学生1300円●前売1200円

TEL.03-3389-3301 ●JR中野駅北口サンモール街(ストック)右に入る ●特別鑑賞券(1200円)チケットびあ、都内各プレイガイド、劇場窓口にて発売中